

ふじみサラダボール子育て情報



「心に宿して」
令和2年12月9日号
板橋富士見幼稚園



クリスマスやお正月を大切に

街中の木々はすっかり落葉し、北風のすり抜ける枝声が聞かれるようになりました。寒さと日の短さが重なって何となく沈む気持ちを、木々に身近な光る物を飾り付けて元気づけたのが、クリスマスツリーの始まりだそうです。街には、軽やかな音楽が流れ、ツリーや電飾が輝き心が弾む華やかな街に一変します。



街の中では、見たこともない銀色の大きなブーツにお菓子が山盛りに飾られ、子ども達にとっては夢のような世界です。そしてクリスマスになると、テーブルにご馳走が並べられて、雪の国からプレゼントが届きます。

そしてそこから一週間程経つと、突然に「おはよう」から「あけましておめでとう」と言われ、また朝からテーブルにご馳走が並び、お正月を迎えます。

このように12月から1月は、たくさんの興奮と喜びを経て、子どもたちにとって忘れることのできない深い思い出となるのです。

親御さんやおじいちゃま、おばあちゃまと一緒に特別で楽しい時間を過ごすことで、大人への信頼や優しさが形成され、家庭が安心した拠り所となり、子どもの豊かな心情が育まれていきます。

だからといって、ご馳走を並べ、クリスマスプレゼントやお年玉をあげなさいと言っている訳ではありません。ただ、普段よりちょっと違う生活感に触れさせてあげることが、子どもにとってはとても大切な心の栄養になるのです。幸福感は、一生忘れることのない記憶となります。せっかくのチャンスですから、あまり叱ったりしつづけたりせず、家族みんなではしゃぎ楽しみ、愛情が注がれていることを大いに実感させてみてはいかがでしょうか。



間もなくやってくる、クリスマスやお正月を是非ご家族で楽しんでみてください。来年は、丑年です。牛のごとくゆったりと心の言葉で通い合う年であってほしいと思います。ご家族で良い年をお迎えください。日本の伝統行事として、幼稚園門前の松飾りを供えますので、ご覧いただければ幸いです。